

三宿病院・血液内科における臨床研究と学会又は学会誌への報告のご案内

血液内科では、第 78 回日本血液学会にて「高齢者非ホジキンリンパ腫における深部静脈血栓症の合併とその治療法についての後方視的検討」という演題名で学会報告（平成 28 年 10 月 13 日）を行います。

深部静脈血栓症(VTE)とは下肢および骨盤内などの深部静脈に血栓が生じた状態をいい、形成された血栓が静脈血流によって肺に運ばれると、肺塞栓症を起こすことがあります。肺塞栓症は肺動脈を閉塞することにより呼吸循環障害を生ずる病態であり、早期発見が困難であり、発症した場合、死亡率が高いことが知られています。高齢者、悪性腫瘍患者で VTE を併発することが多く、当科においても悪性リンパ腫の患者様方の診療における同様のケースを経験しており、これらの症例を対象に線溶系データの測定を迅速に行い、有意に異常を認められた場合には下肢静脈エコーや CT 所見で診断、抗凝固薬による治療を行ってきました。我々は当科で経験した上記の患者を対象として、VTE に至った経緯、その後の治療・対応等について詳細な后方視的解析を行い、その有効性と安全性を明らかにして、今後の診療に役立てる所存です。

当臨床研究は平成 26 年の文部科学省と厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理 指針」でいうところの「侵襲を伴わない研究」、「介入を行わない研究」、「人体から取得された試料を用いない研究」であり、三宿病院の倫理委員会でも承認されています。しかしながら、指針では「研究者等は、インフォームド・コンセントを受けることを要しないが、インフォームド・コンセントを受けない場合には、研究に用いられる情報の利用目的を含む当該研究についての情報をホームページにて公開し、研究が実施又は継続されることについて、研究対象者等が拒否できる機会を保障しなければならない。」と、記載されています。

今回、我々は当院の倫理委員会の規定に基づいて、三宿病院のホームページにおいて公開することといたしました。尚、当件についてのお問い合わせやご相談等がございましたら、三宿病院事務部庶務課までご連絡ください。今後もさらなる研究を積み重ね、皆様に信頼される医療機関となるべく、努力してまいりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

血液内科 増岡 和宏